

株式会社 三旺シーリング

2022年度 環境経営レポート

(対象期間：2022年 7月～2023年 6月)



発行日：2023年9月10日

I. ごあいさつ

株式会社三旺シーリングは、設立以来、建設工事業を通して地域社会の発展に尽力してまいりました。全従業員が地球環境の保全の重要性を認識し、環境負荷の低減に努めることにより、美しい国土の維持、人と環境が共存する社会を目指して取り組んでまいります。

株式会社 三旺シーリング 環境経営方針

当社は、建築工事、防水工事及び塗装工事の各事業分野において、地球環境の保全のために、環境負荷の一層の低減を図るべく、定期的に経営における課題とチャンス进行明確化し、全社一丸となって、自主的・積極的に環境への取組を推進します。

1. 環境経営の継続的改善を誓約します。
2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
3. 二酸化炭素排出量の削減を推進します（電気、ガソリン、軽油）。
4. 廃棄物の削減とリサイクルを推進します。
5. 水使用量の削減を推進します。
6. 環境に配慮した施工を推進します。
7. 本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日： 2021年4月1日
改定日： 2023年7月1日

代表取締役 高本靖嗣

Ⅱ．組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社 三旺シーリング
代表取締役 高本 靖嗣
- (2) 所在地
本社 〒672-8079 兵庫県姫路市飾磨区今在家6丁目156番地2
事務所 〒672-8035 兵庫県姫路市飾磨区中島1113-2
資材置き場 〒679-2123 兵庫県姫路市豊富町豊富880番地1
- (3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先
環境管理責任者 岩元ゆり TEL:079-231-4820
担当者 同上 FAX:079-231-4821
Email:sanousealing@ever.ocn.ne.jp
- (4) 事業内容
建築工事業、防水工事業、塗装工事業、解体工事業

(5) 設立 2009年7月31日

(6) 資本 300万円

(7) 事業の規模
建設業 年間工事完成高 1億8千4百万円(2019年度)

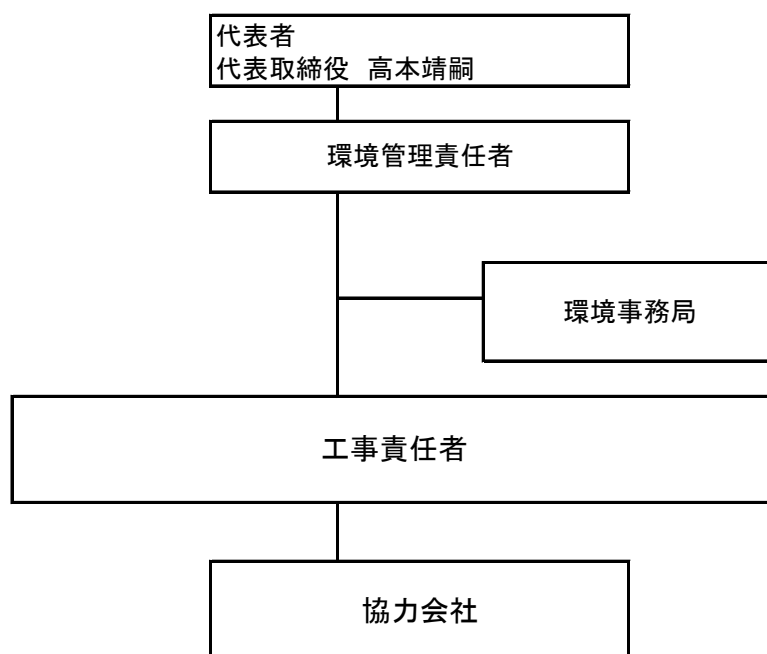
	事務所	資材置き場	合計
従業員 (名)	5	0	5
延べ床面積 (㎡)	40	70	110
敷地面積 (㎡)	46.2	474	520.2

(8) 事業年度 7月～翌年6月

Ⅲ．認証・登録の対象範囲

登録組織名: 株式会社 三旺シーリング
対象事業所: 本社、事務所、資材置き場
対象外: 対象なし
活 動: 建築工事業、防水工事業、塗装工事業、解体工事業

IV. 環境経営システム組織



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認 ・経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 ・環境教育訓練計画の作成と実施の管理 ・特定された項目の手順書作成（緊急事態への対応を含む） ・環境経営レポートの作成、公開（事務所への備付けと地域事務局への送付） ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の運用管理 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
工事責任者 (現場代理人)	・建設現場における環境経営システムの実施 ・工事担当者及び協力会社員に対する教育訓練の実施 ・建設現場の環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・緊急事態対応訓練の実施、記録の作成 ・建設現場での問題点の発見、是正、予防措置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

V. 主な環境負荷の実績

項 目	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	31,027	30,017	22,244	26,807
電力使用量	kWh	2,216	2,122	2,020	2,154
ガソリン使用量	L	3,605	3,717	3,632	4,056
軽油使用量	L	8,498	8,022	5,095	6,464
廃棄物排出量	kg	-			
一般廃棄物	kg	実績不明	実績不明	29.73	30.15
産業廃棄物	kg	5,460	5,460	5,460	3,640
水道水使用量	m ³	12	12	12	12

注) 化学物質の使用はありません。

VI. 環境経営目標及びその実績

(1) 中期目標

年 度		2021年度 基準年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
項 目						
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂ 対基準	22,244	22,022	21,799	21,577	21,354
			△ 1 %	△ 2 %	△ 3 %	△ 4 %
電力使用量削減	kWh	2,020	2,000	1,980	1,959	1,939
	kg-CO ₂	675	668	661	654	648
	対基準		△ 1 %	△ 2 %	△ 3 %	△ 4 %
ガソリン 使用量削減	L	3,632	3,596	3,559	3,523	3,487
	kg-CO ₂	8,426	8,342	8,258	8,173	8,089
	対基準		△ 1 %	△ 2 %	△ 3 %	△ 4 %
軽油 使用量削減	L	5,095	5,044	4,993	4,942	4,891
	kg-CO ₂	13,145	13,014	12,882	12,751	12,619
	対基準		△ 1 %	△ 2 %	△ 3 %	△ 4 %
II. 廃棄物排出量						
一般廃棄物 削減	kg	30	29	29	29	29
	対基準		△ 1 %	△ 2 %	△ 3 %	△ 4 %
産業廃棄物 削減	kg	5,460	5,405	5,351	5,296	5,242
	対基準		△ 1 %	△ 2 %	△ 3 %	△ 4 %
III. 水使用量 削減	m ³	12	12	12	12	12
	対基準		△ 1 %	△ 2 %	△ 3 %	△ 4 %
IV. 環境に配慮した 施工の推進	件	0	0	0	0	0
	対基準	—	—	—	—	—

注) 電力の二酸化炭素排出量への排出係数は、関西電力(株)2018年度実績値の調整後係数 0.334kg-CO₂/kWh を使用。

(2) 運用期間の実績

年 度 項 目		2021年度	2022年度における実績 (2022年7月～2023年6月)			
		基準値	目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂ 対基準	22,244	22,022	26,807	82%	×
			△1%	+21%		
電力使用量削減	kWh	2,020	2,000	2,154	93%	×
	kg-CO ₂ 対基準	675	668	719		
			△1%	+7%		
ガソリン 使用量削減	L	3,632	3,596	4,056	89%	×
	kg-CO ₂ 対基準	8,426	8,342	9,409		
			△1%	+11%		
軽油 使用量削減	L	5,095	5,044	6,464	78%	×
	kg-CO ₂ 対基準	13,145	13,014	16,678		
			△1%	+27%		
II. 廃棄物削減						
一般廃棄物 削減	kg 対基準	30	29	30.15	98%	△
				+1%		
産業廃棄物の削減	% 対基準	5,460	5,405	3,640	149%	○
		0	△1%	-33%		
III. 水使用量 削減	m ³ 対基準	12.0	12.00	12.00	100%	○
		—	—	—		
IV. 環境に配慮した 施工の推進	件 対基準	0	0	0	100%	○
		—	—	—		

注1) 達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度＝目標÷実績×100(%)、増加を目指す場合は、達成度＝実績÷目標×100(%)

注2) 評価欄にて、○：達成（100%以上）、△：やや未達成（95%～100%未満）、×：未達成（95%未満）

注3) 建設リサイクル率の実績(37.9%)＝再資源化量（1,378kg）／産業廃棄物発生量（3,640kg）

注4) 環境に配慮した施工とは、騒音、振動、粉じん、道路の汚れ、水の汚れなどを防止し、廃棄物適正処理・3Rに努め、付近住民の生活に配慮した工事を言う。目標についてはこれらのトラブルをゼロとする。

VII. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画
二酸化炭素排出量の削減 <u>(目標未達成)</u>		
(下記の通り)	○	(下記の通り)
電力使用量の削減 <u>(目標未達成)</u>		
・空調温度の適正化 (冷房28℃暖房20℃)	◎	適正温度を守れた。
・不要照明の消灯	○	階段での消し忘れなど、不要照明の消灯を徹底する。
・設備の空運転禁止	○	昼休みなど長時間不使用時には対応できたが、今後は、もっとこまめに入・切の操作をする。
ガソリン使用量の削減 <u>(目標未達成)</u>		
・アイドリングストップ	△	もっと意識をシエコドライブを実行する。
・急加速・急停車の防止	○	普段より安全運転に注意しているのでまずまずできた。
・効率的な移動	△	もっと無駄を省く計画性が必要と思われる。 次年度も、左記取組を継続する。
軽油使用量の削減 <u>(目標未達成)</u>		
・重機の空ふかしの禁止	○	もっと意識をシエコドライブを実行する。
・アイドリングストップ	○	普段より安全運転に注意しているのでまずまずできた。
・空気圧、オイル等の点検	△	もっと無駄を省く計画性が必要と思われる。 次年度も、左記取組を継続する。
一般廃棄物の削減 <u>(やや未達成)</u>		
・ミスコピーの削減	○	削減できているがこれからも意識づけを徹底する。
・分別によるリサイクル推進	○	ペットボトル等の分別を徹底し廃棄している。
産業廃棄物の削減 <u>(目標達成)</u>		
・分別によるリサイクル推進	○	コンクリート殻の割合が多く、リサイクル率が高かった。
・仮設資材の再利用の推進	○	仮設資材を修理することで再利用に努めた。
水使用量の削減 <u>(目標達成)</u>		
・節水の周知徹底	○	節水の呼びかけにより達成できたが、より徹底をはかる。
・節水シールの貼付とポスター掲示	○	簡単なポスター等を掲示した結果、意識が向上した。
・清掃時・手洗い時の節水	○	より多くの工夫ができるようにする。 次年度も、左記取組を継続する。
環境に配慮した施工の推進 <u>(目標達成)</u>		
・クレーム・コンプレインの削減	○	環境に配慮した施工とは、騒音、振動、粉じん、道路の汚れ、水の汚れなどを防止し、廃棄物適正処理・3Rに努め、付近住民の生活に配慮した工事を言う。目標についてはこれらのトラブルをゼロとする。

VIII. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務、事前届出	遵守
建設業の再生資源利用省令	再生資源、建設工事副産物の再利用 再生資源利用計画書、実施記録の作成	遵守
消防法	消火設備の定期点検(防火対象物)、事故時の措置届出(通報)、危険物の届出・点検・基準遵守、指定数量未満の危険物保管の扱い、指定可燃物の扱い	遵守
家電リサイクル法	特定家電4品目の適正な事業者(家電販売店)への引き渡し	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検と記録、記録の保管、漏洩防止、廃棄時の適切な処置 建物解体工事時におけるフロン類使用機器の有無の事前確認と発注者への書面説明、及び当該書面写しの保存	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規への違反はありません。

なお、関係当局より違反等の指摘は3年間ありません。

IX. 代表者による全体の評価と見直し・指示

当社は、良い地球環境や自然環境を次世代に残すための取り組みの大切さを社員全員が認識し、エコアクション21に取り組んで来ました。節電、節水、エコドライブなどの省エネについては、今後より一層努力をして行く必要があります。また、3Rなどの無駄をなくす取り組みは、社内活動として定着して来ているので、今後は更なる啓蒙活動を行い、全社員への徹底を図って行く必要があります。

全体としては、非常に厳しい経済状況の中、投資をなるべく抑えて、目標を設定して実行し、目標を達成して来たことは、非常に評価出来ると考えます。

環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画及び実施体制については、当面、見直しの必要はなく、現状内容を継続して行きます。

項目	見直し要否	見直し内容
環境経営方針	否	-
環境経営目標	否	-
環境経営計画	否	-
実施体制	否	-
その他	否	-

2023年 7月31日

代表取締役 高本靖嗣